



2月のほけんだより



令和5年2月1日
おとぎ保育園
看護師 坂井 小栗

気温が低く乾燥した日が続いています。2月4日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。

手洗い・うがいをしっかり行い、生活リズムを整え、感染症の予防に努めましょう。

おとぎ先月の感染症

先月末に下痢・嘔吐の子が十数名いました。胃腸炎は、軽い症状は1日で回復してしまいましたが、菌は1ヵ月程度排出されるので注意が必要です。

唾液による抗原検査キットが一般用で発売されました

鼻でやるのは痛いし可哀想だったり、自分でやれないなどあったかと思いますが、唾液のため痛みが少なく行うことができます。

※研究用と記載があるものは精度が低いものになります。一般用や医療用と記載があるものを使用しましょう。



やけどになってしまったら...

寒い季節になり、暖房やお湯を使う機会が増えました。そうすると必然的に子どもがやけどをする回数も増えてきます。もしものために対応方法を覚えておきましょう。

やけどについて

皮膚にお湯などの熱いものがかかって起こる障害のこと

1度のやけど...皮膚が赤くなっている状態

2度のやけど...水泡(水ぶくれ)ができている状態

3度のやけど...皮膚が白くなったり黒こげた状態

子どものやけどの特徴

●子どものやけどは、特徴として幼少であるほど皮膚が弱い
ため、やけどの深さは成人に比べて深くなりやすいです。

●ホットカーペットや携帯用カイロなどによる低温やけどは、
少し赤くヒリヒリする程度で軽傷に見えますが、皮膚の深部
までやけどが進行することもあるため注意が必要です。

●子どもの成長発達に合わせ、事故予防につとめることがや
けどを防ぐことになります。

●やけどをしたときは皮膚科か形成外科へ受診しましょう。



こんな場合は救急車を呼んでください

●全身のやけど

●顔面のやけど

こんな場合も救急車を呼んでOK

・やけどが深い場合(皮膚の色が白くなっている)

・やけどの範囲が広く全身の約10%のやけど

受診の目安

・頭、お腹、背中...20%
・腕1本、足1本...10%

すぐに受診

・手や足の指

(皮膚がくっついてしまうことがある)

・陰部のやけど

・水泡(水ぶくれ)ができたやけど

→水泡がつぶれると感染を起こす恐れがある。

診療時間内に受診

・受傷した範囲が狭い

・皮膚が赤くなっているのみ

★おうちケアのポイント...すぐに「冷やす」ことが重要

・流水で最低5~10分冷やす。水の勢いは強くしないように。

・服の上から直接流水。もし服の上から熱湯などがかった場合は、無理に脱ぐと皮膚がは
がれることがあるので服の上から冷やしましょう。

△水泡(水ぶくれ)はつぶさないで病院へいきましょう。